



流動試料の熱重量測定

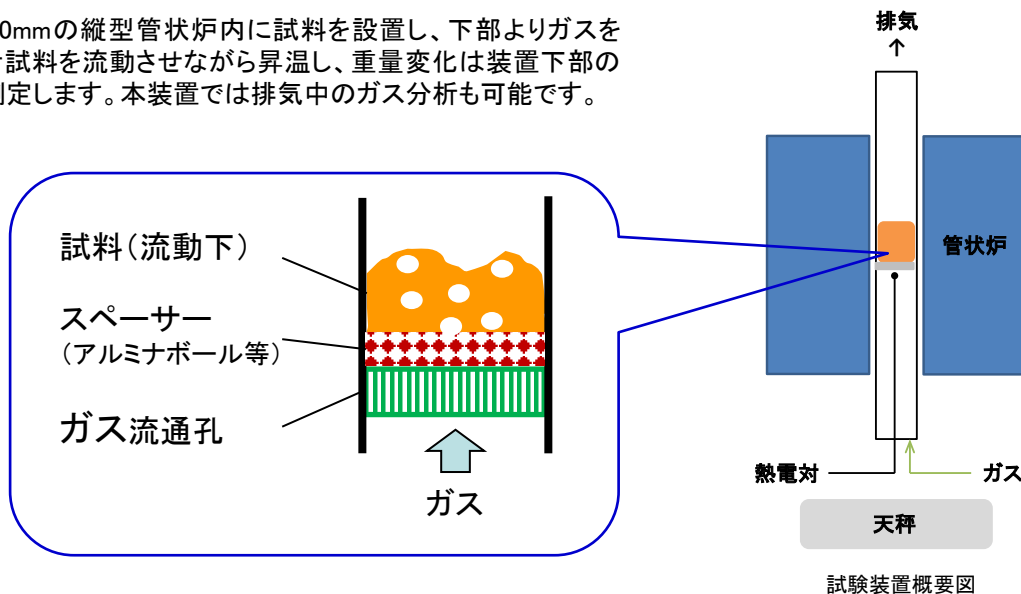
試料を加熱、流動させながら重量変化を測定いたします。

試料を流動させながら熱重量測定を行います

一般的な熱重量測定では試料は静置された状態であるため、流動プロセスを想定した場合、得られる結果との差異が考えられます。当社では比較的大量の試料を流動させながら、実プロセスに近い状態で熱重量測定ができます。

試験の概要

内径約50mmの縦型管状炉内に試料を設置し、下部よりガスを流通させ試料を流動させながら昇温し、重量変化は装置下部の天秤で測定します。本装置では排気中のガス分析も可能です。



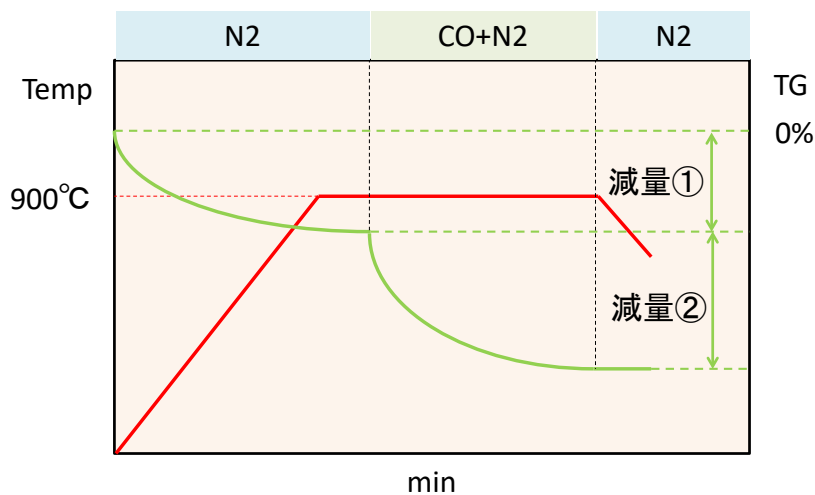
試験例および装置仕様

粉末状の鉄鉱石を窒素気流下で流動させながら900℃まで昇温後、還元雰囲気(CO+N₂)に切り替え流動状態での重量変化を測定しました。

図中の減量①は試料の飛散による減量、減量②は試料の飛散+還元による減量を表します。

装置仕様

仕様	
温度(max)	900℃
昇温速度(max)	10℃/min
試料部容積	150ml
雰囲気ガス	Air、N ₂ 、CO、CO ₂ 、H ₂ 等
雰囲気流量	~20L/min



試験例および装置仕様

- ・ 適用試料は粉末状試料です。
- ・ お客様の要望に合わせて試験装置をカスタマイズし、試験・評価いたします。
- ・ 上記以外にも対応可能な試験がございます。お気軽にご相談ください。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2022 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。